施設長あいさつ

仲秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

夏から秋にかけて、様々なイベントが続く季節となりました。ファミリーマイホームにおいては、7月26日に夏祭りを開催し、利用者様のご家族や近隣の皆様をお招きすることができました。新型コロナウイルス感染症以降、会場内での飲食を解禁し、新たな試みとしてセラピー犬を招待してのアニマルセラピーの実演をさせていただきました。当日は大勢の来園者様がお見えになり、直接ご挨拶をすることができ、大変有意義な1日を過ごすことができました。

また、8月の方入町会まつりでは、正面玄関にお神輿が来園し、多くの地域の皆様との交流を図ることができました。

その後、8月下旬から新型コロナウイルスのクラスターが発生し、9月初旬に収束をむかえるまでの期間、利用者様には療養生活を余儀なくされる生活を優先させていただき、またご家族や関係各所の皆様におかれましては、面会の制限や一部のショートステイ(短期入所生活介護)の利用を中止することとなり、多大なるご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

その後はファミリーマイホームも落ち着きを取り戻し、9月末には予定通り「秋のバスハイク」として、施設を代表した利用者様と付き添い職員が山梨県の河口湖周辺まで伺うことができました。このバスハイクは、10月9日に2回目を行う予定です。

そのようななか、現在我々はインフルエンザウイルスのクラスター対応中でございます。9月28日(月)に2階・3階のそれぞれ1名の利用者様のインフルエンザウイルスの感染が確認されて以降、日々感染者が増えております。幸いにも協力医療機関の配置医師の診察が迅速に行われ、ウイルスRNAの複製を止め、確定診断から1回服用するだけの新たな抗インフルエンザ薬の服薬投与を行うことで、皆様症状は軽快に向かわれております。そのため事態が収束するまで、再度の面会制限やショートステイ(短期入所生活介護)の利用中止の措置を講じております。皆様におかれましては、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

収束となった暁には、ファミリーマイホームではこれからも感染対策を講じながら可能な限りボランティアや実習生の受け入れ、地域イベントへの参加の機会を継続していこうと考えております。もちろん、ご家族との面会についても同様で、居室や共用部などのフロアでの面会を推奨してまいります。事前予約は必要ですが、利用者様にお会いいただき、かけがえのない時間を過ごしていただけると幸いです。

今後も職員一同、利用者様のサービス提供に精一杯努めてまいりますので、ファミリーマイホームへのご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

令和8年10月1日

ファミリーマイホーム 施設長 田代 航也